

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第15回研修を開催しました！」

第15回の研修は、令和6年9月13日（金）、14日（土）に雫石町南畑のコテージむらで開催しました。

今回の研修では、病害虫・雑草総合管理についての講義と、実習では、トマトの芯止めなど、栽培野菜の管理と、えだまめやにんじんなどの収穫を行いました。

講義では、元岩手県病害虫防除所長の阿部武美氏を外部講師にお招きして、病害虫と雑草の総合管理や、農薬の適正使用について講義をいただきました。

実際の栽培においては、想定される主要な病害虫・雑草を把握し、多様な手法により、総合的に管理する事や、ほ場周辺で発生している病害虫の情報収集が大切、とのことでした。

実習では、大玉トマトの摘芯と下葉かき、なすの整枝作業を行いました。

大玉トマトの摘芯作業では、摘芯する位置や残す葉の枚数を、受講生同士で確認しながら、作業を進めていました。

最後に、えだまめとにんじんを収穫しました。にんじんは酷暑の影響もあり、発芽が揃わず、無事に収穫できるか心配もありましたが、いざ掘り上げると、型の良いにんじんが収穫できたため、とても嬉しく思いました。

早いもので、今年度の南畑での実習も残すところ、あと3回となりました。これまでの研修の内容をしっかりと復習し、野菜栽培の基礎を習得していきましょう。

次回の研修は、9月27日（金）、28日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、外部講師をお招きし、農作業安全についての講義とトラクタ及び小型管理機の操作実習を行う予定です。



講義「病害虫・雑草総合管理について」の様子
講師：阿部 武美 氏



大玉トマトの摘芯を行う受講生



えだまめの根粒について学ぶ受講生（中央から左）



にんじんの収穫の様子